

Webフィルタリング 比較検討表

	目的	機能	仕様	A社製 Xフィルター	B社製 Yフィルター	C社製 Zフィルター	D社製 Vフィルター	
1	データベースの正確性を確保し、精度を高める	データベース	配信されるデータベースが1日3回以上更新されること。更新されたデータベースの内容が自動的にダウンロードされ更新されること。	○	○	○	○	
			メーカーが定義し配信しているカテゴリが合計で140カテゴリ以上あること。	○	×	○	×	
			サイバー攻撃対策として、ドライブ・バイ・ダウンロード攻撃に利用される改ざんされた正規サイトへのアクセスを規制する専用カテゴリを持っていること。	●	△	○	×	
			URLデータベースはJPCERT/CCが運営するフィッシング対策協議会からフィッシングサイトの情報提供を受けていること。	○	○	○	×	
			任意のサイトのフィルタリング情報の追加・変更・削除を公開サイトからできる仕組みが用意されていること。	○	×	△	○	
2	柔軟なルール設定で不正なアクセスや書き込みを規制する	規制機能	インターネットの規制は、管理者が対象URL名をホワイトリスト・ブラックリストに追加削除できること。	○	○	○	○	
			掲示板、Webメールなどの閲覧を許可しつつ書き込みのみを規制できること。かつそれらをカテゴリごとおよびユーザグループごとに設定できること。	○	○	○	○	
			掲示板、SNSなどへの書き込みを規制するサイズを指定できること。	○	○	○	●	
			掲示板への書き込みや検索を、入力キーワード単位で規制できること。	○	○	○	×	
3	ウイルス感染や不正アクセスの際、その原因調査や対策検討に役立つ	ログ管理	書き込み内容のログを記録できること。	○	○	○	×	
			ログのローテーションタイミングを、月・週・日およびファイルサイズにより変更できること。	△	×	○	○	
			グループ単位でログ出力が可能なこと。	○	×	○	○	
			ログの出力条件及び出力項目をユーザーが選択可能なこと。	○	×	×	○	
			HTTPS通信を解析し、ディレクトリ単位のURLフィルタリング、アクセスログ出力、POSTログ出力が可能な機能を標準搭載していること。	○	○	○	×	
4	運用方針やルールの改善・強化のための検討材料にする	ログレポート	特定グループのログのみ集計が可能なこと。	●	○	○	○	
			メールで集計レポートを自動送信する機能が装備されていること。	×	×	●	○	
			ユーザが入力した検索エンジンでの入力キーワードを集計・ランキングしレポート出力が可能であること。	●	○	●	×	
			特定、（または特定複数）グループのログのみ集計し、特定の管理者（グループ管理者）のみ閲覧が可能なこと。	●	○	×	○	
記号の意味： ○：満たす（5点） ●：オプションで満たす（5点） △：一部満たす（3点） ▲：オプションで一部満たす（3点） ×：機能として不足（0点）				○	15	2	8	9
				●	2	11	5	0
				△	0	2	3	1
				▲	0	1	1	0
				×	1	2	1	8
				ポイント	85	74	77	48